

# 来週の「売り物」記事はこれ



2014年2月28日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

追跡！ ナチス・ドイツ軍人

ロンメル元帥の財宝伝説

3月2日（日）



第2次世界大戦中、連合国から「砂漠の狐」と怖れられたナチス・ドイツの軍人、エルヴィン・ロンメル元帥。今年で没後70年を迎えます。ナチス党に入らずに一軍人としての立場を貫き、その知略は敵将チャーチルからも賞賛されたほどです。最後はヒトラーによって自殺に追い込まれたこともあ



まって、戦後ドイツ人の「心の救い」ともなっています。そして、連綿と語り継がれているのが「ロンメルの財宝」伝説です。北アフリカのユダヤ人社会から略奪した財宝の数々がどこかに眠っているというのです。財宝伝説をたどっていくと、意外なことに戦後ドイツの苦悩と、いまだ終わらない戦争の悲劇が浮かび上がってきました。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

♪アンダーコントロール 騙す訳ない♪

CD「三年想いよ」を発売 沢田研二さんに聞く

夕刊2面特集ワイド 3月3日（月）



昨年末に44年ぶりに再結成した「ザ・タイガース」のボーカル、沢田研二さん（65）＝写真＝は今、一人に戻り歌手、俳優として精力的に活動している。そんな沢田さんが3月11日に震災後3作目となるCD「三年想いよ」を発売する。収録曲は全て沢田さんが作曲。東日本大震災、被災地、原発事故への沢田さんの想いをじっくり聞く。

「Tokiko's kiss」 おんなのしんぶん面 3月3日（月）

おんなの  
しんぶん

加藤登紀子さんの対談コーナー「Tokiko's kiss」。今月のゲストは、医師の鎌田實さん＝写真。発生からまもなく3年となる東日本大震災の復興支援を続ける旧知の2人が、被災地の今と今後を語り合いました。



## 連載 「8%に備える」① くらしナビ面3月3日(月)～



消費税率が8%に上がる4月まで、いよいよ1カ月を切りました。何となく不安を感じている人は多いのではないのでしょうか。何に備え、どのように家計を守ればいいのかを考えます。(3日から毎週月曜、計4回掲載します)

## 大震災から3年 連載「明日を育む」

くらしナビ面3月4日(火)～7日(金)

東日本大震災の被災地で暮らす子どもたちの環境には、さまざまな課題が今も残ります。抱えている問題の多くは、被災地以外の地域にとっても無縁ではありません。誰にでも関わり得る問題をとらえながら、被災地の子どもを追い追います。



東日本大震災から3年の節目となる3月11日に向け、地方部は年明けから取材を始めました。岩手、宮城、福島3県には支局員に加え、全国から多くの記者たちが入り、進まぬ復旧・復興の現場を歩きました。

社会面でいち早く始めた企画は「思い 重ねて」。震災直後にながれきりの中を取材した記者たちが、当時の人々を再び訪ね、暮らしぶりや胸の内を聞きました。被災者の喜怒哀楽を丹念に描きます。

硬派面は「クローズアップ」「震災特集」「再生への提言」を連日展開します。

「クローズアップ」は被災地の課題に目を向けます。▽復興用地の取得の遅れ▽定員割れが相次ぐ復興住宅▽被災地の主産業・漁業▽交通の復旧状況▽原発賠償など、制度的な問題を指摘します。

ほぼ2ページ全面を使う「特集」は、日ごろの取材網を駆使する一方、アンケート調査などで独自に被災地の「今」を掘り下げます。各地に避難した人たちに自宅再建の進み具合や帰還の意向を尋ねる「100人アンケート」、沿岸の42市町村長に復興の課題や国への注文を聞く「行政アンケート」などです。

国内外の文化人、学者、経済人、スポーツ人など多彩な「第一人者」に被災地への提案をいただく「再生への提言」も読み応えたっぷりです。